

ひょうたいけ

桜台小 学校だより
令和4年11月28日
第44号



11月25日(金)に三重県から感染防止行動徹底アラートが発出されました。四日市市内でも新型コロナウイルス感染症が拡大傾向にあります。場面に応じた感染症対策をとるよう、子どもたちへの声かけをよろしく願います。また、日没が早くなり、①寄り道をせずに帰る ②何人かまでとまって帰る ③暗くなる前に家に帰るようになる、といった3点を学校では指導していますので、ご家庭でもお話をさせていただくようお願いいたします。
※学校ホームページ「桜台っ子ニュース」では、日々の学校の様子をカラーで紹介しています。



算数の校内全体授業研究を行いました。

11月25日(金)、3年2組で算数の校内全体授業研究を行いました。今回は分数の単元で「 $3/4$ mと基準量の $3/4$ の違いについて理解する」というのが大きなテーマでした。子どもたちは「分数は1より小さくなる」という感覚が身に付いているのか、 $3/2$ mという仮分数の考え方を導き出すのに苦労していました。子どもたちは、隣の子とペアになって話をしたり、みんなの前に出て考えを述べたり、発言している子の方を向いてうなずきながら話を聞いたり、一所懸命課題解決を図ろうとがんばっていました。1mをもとにして考えることが理解できてからは、子どもたちなりに整理をして、少しずつ理解が進んでいるようでした。3年生の算数では、分数の表し方が大変難しい内容だと感じます。しっかりと習熟して理解を深めていってほしいと思います。



放課後には、四日市市教育委員会指導課の指導主事にも参加いただき、授業の事後研修会を開きました。今年度は「学び深め合う」ことに焦点を当て、授業の中で「見通しを持たせること」「筋道を立てて考えること」を意識しながら、学び深め合う子どもの姿をめざして、授業研究を進めてきました。今後も子どもたちに確かな学力の定着が図れるように、論理的思考力向上を意識した授業づくりに努めていきます。

全学年で『焼きいも会』をしました。

11月24日(木)午前中『きょうだい学年(①1,6年 ②2,5年 ③3,4年)』で焼きいもをしました。5月中旬に学年園に植えたサツマイモの苗が成長し、11月中旬に収穫をして、この日の焼きいも会に備えました。6年生が開催2日前に距離を離して、



中庭の学年園に焼きいもをするための3つの大きな穴を掘ってくれました。焼きいも会当日は、朝早くから園芸ボランティアの皆さんにもご協力いただき、火おこしと木々を炭にするまでの火の番をしていただきました。

火おこしをして炭にするまでに1時間、その後、子どもたち個々が新聞紙とアルミホイルでくるんだサツマイモを火の中に放り込み、30分~40分程度かけて焼きいもを作りました。子どもたちはさまざまな場所に分かれ、きょうだい学年ごとにおいしく焼きいもをいただきました。1年生の中には食べ方がわからず、6年生にサツマイモの皮をむいてもらっている子もいました。



今年度は、昨年度に引き続き全学年そろって焼きいもを体験しました。コロナ禍でさまざまな活動が制限される中、子どもたちの焼きいもをほおぼる嬉しそうな顔を見ると、実施してよかったなあと感じました。上級生が下級生を思いやる姿や園芸ボランティアさんに感謝の気持ちを話している姿も見られました。園芸ボランティアの皆さんに、「ありがとうございました」「おいしかったです」と自分からあいさつをしに来ている子どもたちがたくさんいて、そんな子どもたちの姿を私は嬉しく感じました。

6年生は、自分たちが掘った穴でできた焼きいもを嬉しようにほおぼる下級生の姿を見て、きっと達成感を感じてくれたことでしょう。また、子どもたちは園芸ボランティアの皆さんの温かい気持ち、ぬくもりに直接ふれ、何かを感じてくれたことだと思います。同じ日に全学年で1つの行事を体験できたことは、子どもたちにとって本当に貴重なかけがえのない時間になったことだと思います。

ご協力いただいた園芸ボランティアの皆さん、忙しい中本当にありがとうございました。(文責 北住 昌文)